

[江南市]
布袋駅東複合公共施設等整備事業 基本設計報告書（概要版）

目次

1 全体計画主旨	01
2 公共施設設計主旨	02
3 施設計画概要	02
4 配置図	03
5 各階平面図	04
6 外観・内観透視図	08

1 全体計画主旨

1)暮らしが花ひらく生活都市をより豊かに彩る拠点

a.駅の東西の一体感を生む布袋駅周辺のまちづくりの起点となる施設

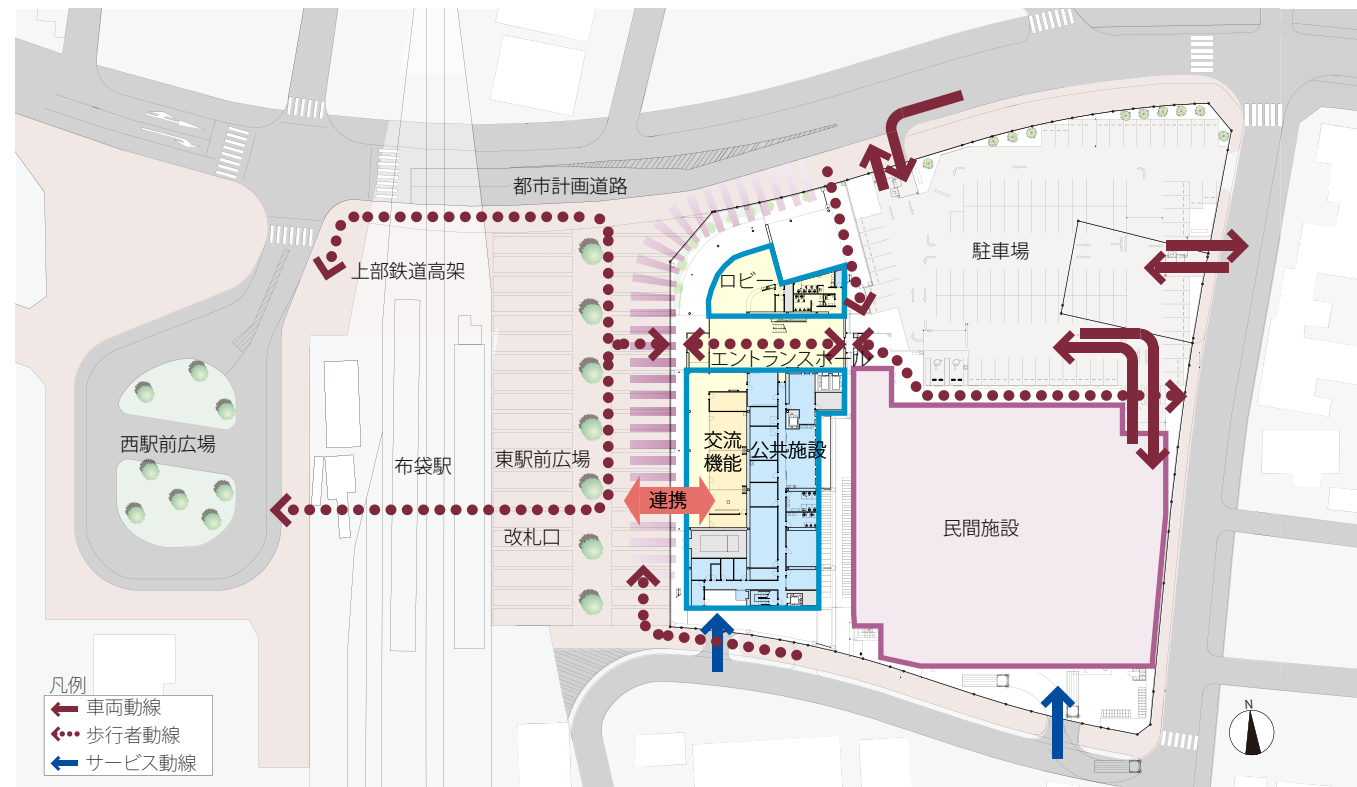
- 現在進められている鉄道高架事業と交差する都市計画道路は、これまで駅東西が分断されていた状況を解消し、駅周辺の人の動きを大きく変えることになります。
- 駅の東西が融合し発展が見込まれる布袋駅周辺の将来を見据えて、東駅前広場だけでなく西駅前広場も連携する場と捉えながら、暮らしが花ひらく生活都市をより豊かに彩る拠点として本施設を整備します。

b.東西駅前広場と公共施設および民間施設の一体感をつくり出す施設配置

- 西駅前広場は公共交通機関の発着場所であり、駅西側地区への起点となります。一方の東駅前広場は今後発展する駅東地区への起点であると同時に、本事業地と一体となって電車での来訪者を迎える江南市の南玄関口としての役割を果たすことになります。
- 公共施設は布袋駅の顔となり、電車利用者の来訪を促進するように東駅前広場に面して配置します。
- 食品スーパーを主とする民間施設は、駐車場への出入りと駐車場への建物の良好な関係付けを考慮し、東側に公共施設と並行に配置します。
- 駐車場は都市計画道路に面して設けます。サービス車両の進入は公共施設・民間施設共に南側道路からとします。



鳥瞰のイメージ



東西を一体的に捉えた配置計画



エントランスホールのイメージ

2 公共施設設計主旨

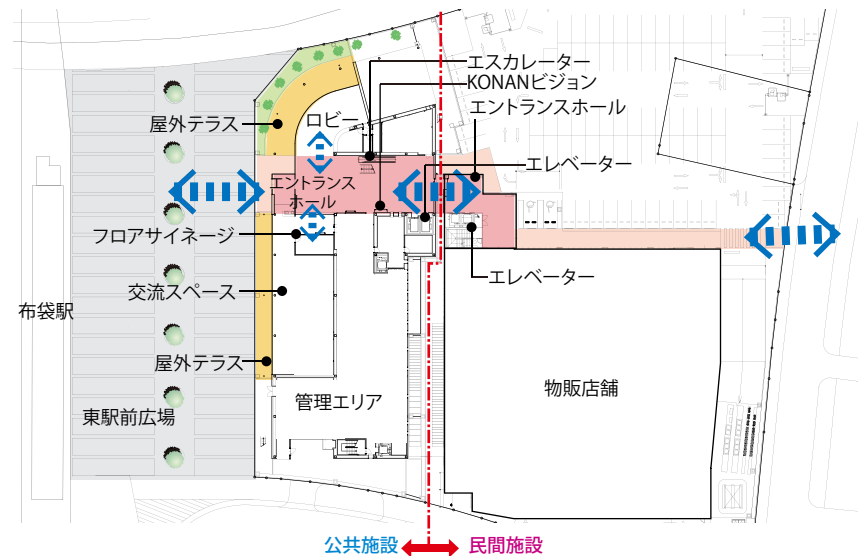
1) 公共施設と民間施設の一体化

a. 施設内の情報・場所にアクセスできるメインストリート

- 公共施設と民間施設のエントランスホールを並列して計画し、東駅前広場と公共施設・民間施設をつなぐように計画します。高い利便性と効果的な連携を生み、市民の自由な通行を可能にします。
- 公共施設上階への動線(エスカレーター・階段、エレベーター)はエントランスホール内に設けます。公共施設から民間施設の2階へもアクセスが可能です。
- 民間施設の3・4階に設ける駐車場から公共施設への入口は、利用率の高い図書館のメインフロアとなる3階に設けます。

b. 様々な機能とつながり、多彩な機会に触れ、交流を促進するホール

- エントランスホールは公共施設全体のメイン動線としてだけでなく、にぎわいや交流を生む交流スペースやロビーと連続し、休憩・談話・学習・交流等の様々な活動を可能にし、多彩な交流を誘発する場にします。
- KONANビジョンを設置し、江南市の文化施設の催し物情報や市主催のイベント情報等を提供します。地域の歴史資源の紹介やサイネージ機能も担います。
- フロアサイネージを設置し、施設案内やイベントなどの情報を統合して来館者に提供します。



2) これからの江南らしい華のあるデザイン

a. 建物デザインの考え方

- 江南市の地理的特性や名跡を建築デザインに採り入れ、市民に親しまれる建築にします。
- 歴史や文化を継承しながらも未来を志向して、これからの江南らしさを象徴する華のあるデザインを展開します。



江南らしさを表現した外観のイメージ

3 施設計画概要

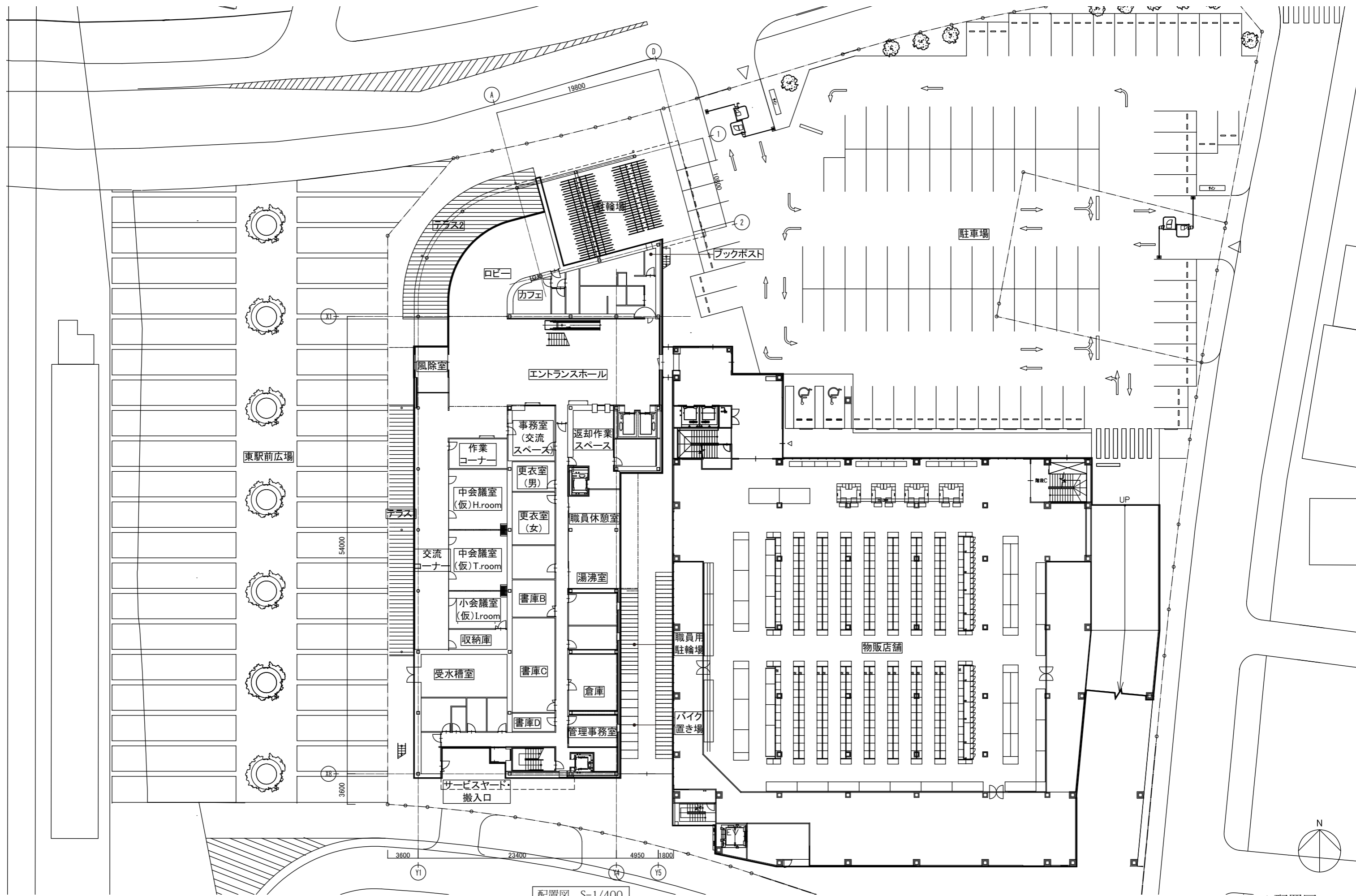
1) 全体

計画地	江南市北山町西300番地 外
敷地面積	約9,081㎡
建築面積	約5,045㎡
延床面積 ※()は容積対象延床面積を表す	約15,614㎡(約15,404㎡)
建ぺい率	約55.5%
容積率	約169.6%
最高高さ	約21.4m

2) 公共施設・民間施設

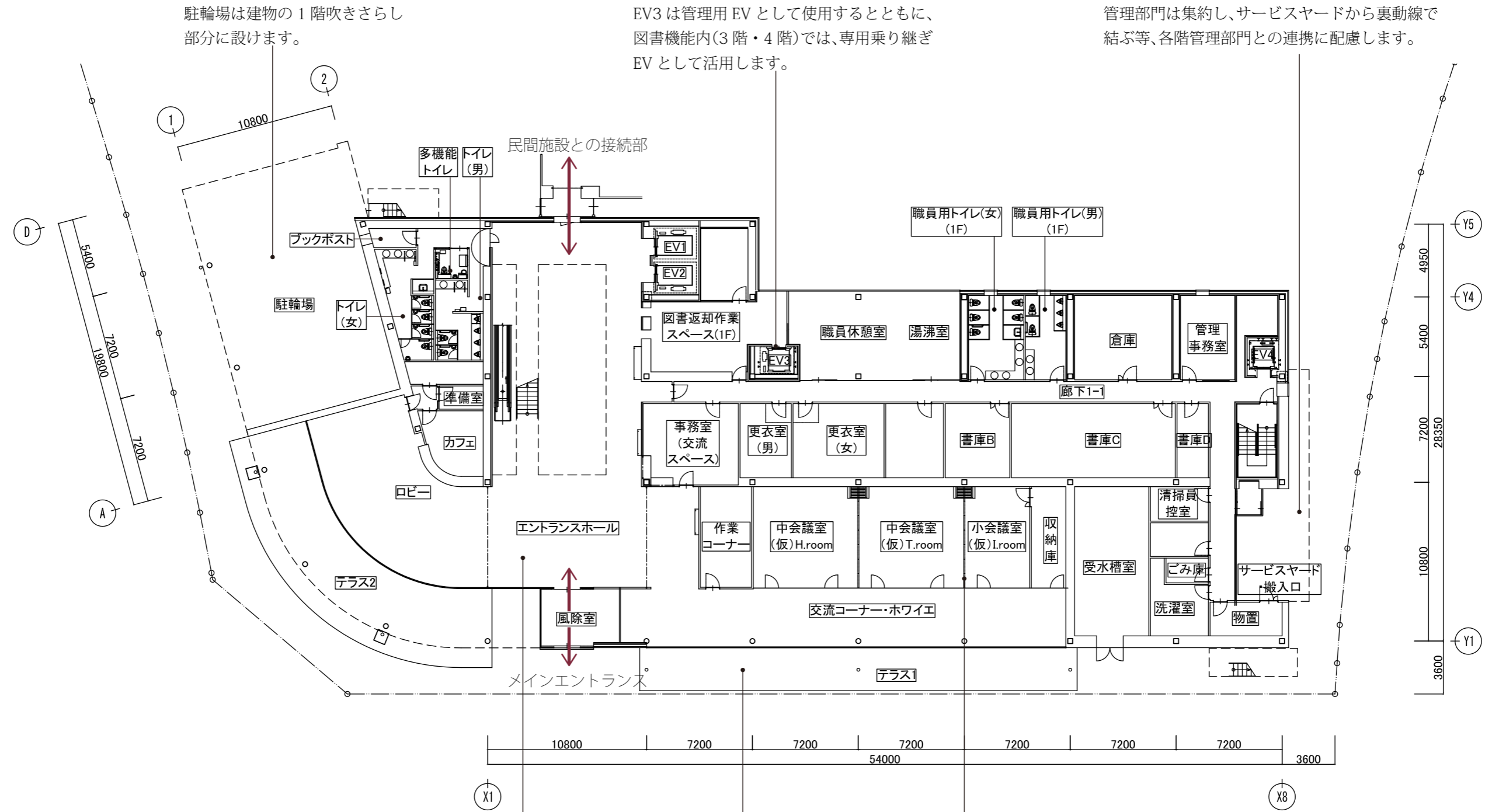
	公共施設	民間施設
階数	地上4階	地上4階
最高高さ	約21.4m	約17.0m
構造	S造	S造
建築面積	約2,092㎡	約2,953㎡
延床面積 ※()は容積対象延床面積を表す	約7,514㎡(約7,359㎡)	約8,101㎡(約8,045㎡)
RF	約 96㎡	—㎡
4F	約1,740㎡	約 646㎡
3F	約1,964㎡	約2,256㎡
2F	約1,896㎡	約2,496㎡
1F	約1,818㎡	約2,703㎡

※延床面積及び各階面積は建築基準法上の面積であり、駐輪場やEVシャフトを含んだ面積です。



配置図 S=1/400

1階 主機能：交流機能、ロビー等



駐輪場は建物の1階吹きさらし部分に設けます。

EV3は管理用EVとして使用するとともに、図書機能内(3階・4階)では、専用乗り継ぎEVとして活用します。

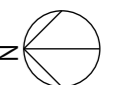
管理部門は集約し、サービスヤードから裏動線で結ぶ等、各階管理部門との連携に配慮します。

エントランスホールにはエスカレーターを設け、2階の保健機能・子育て支援、3階の図書機能へのメイン動線とします。

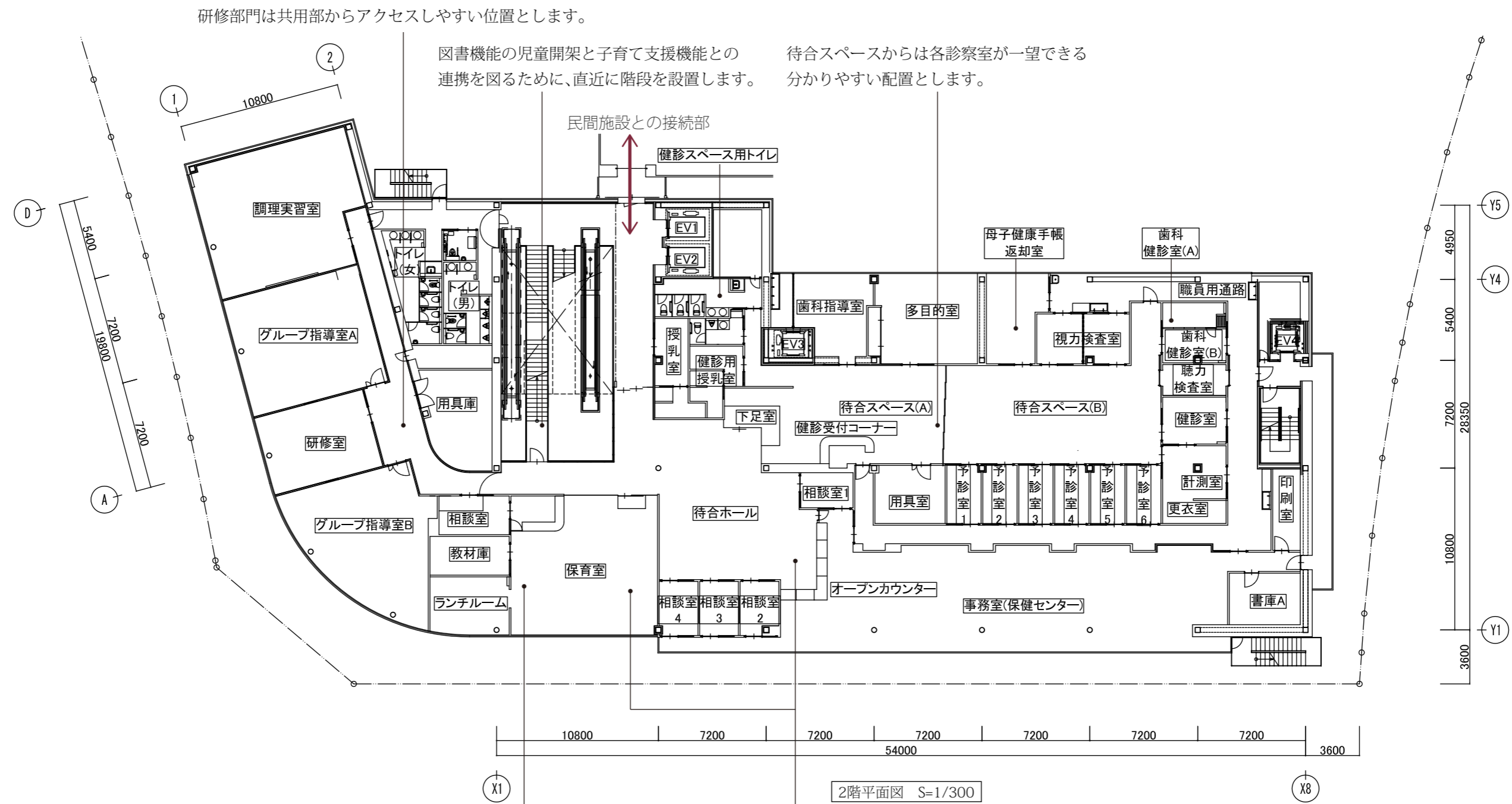
東駅前広場側に屋外テラスを設置し、広場との一体的な利用ができます。

会議室はパーテーションを外すことで一体的な利用が可能です。

1階平面図 S=1/300



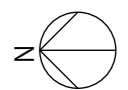
2階 主機能：保健機能、子育て支援機能等



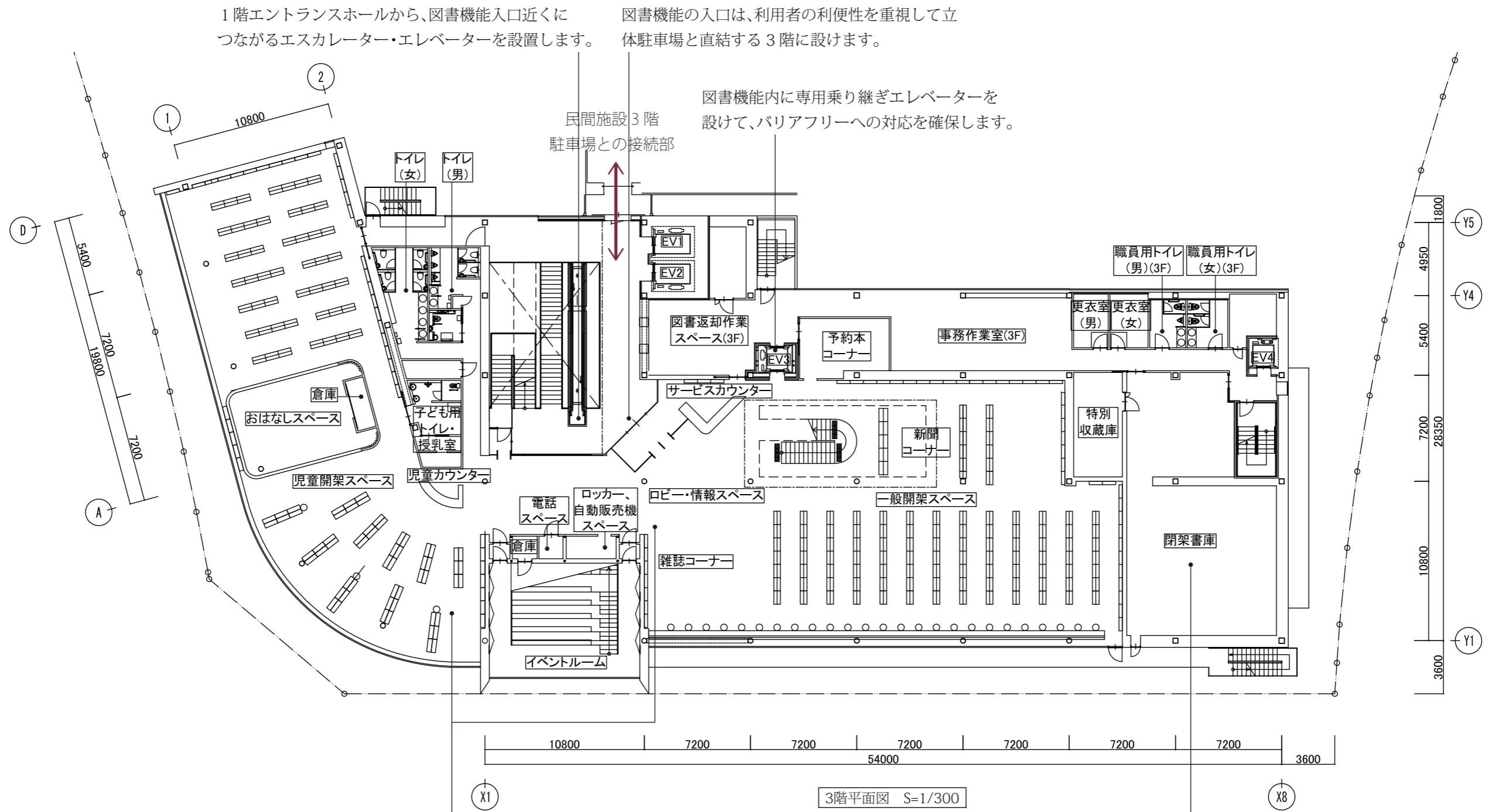
保育機能は乳幼児とその保護者が利用する機能として、ベビーカーで来館する保護者もいることから、アクセスの容易性と万一の災害時の避難の安全性を重視し、低層階の分かりやすい場所に配置します。

保育室は明るいスペースとするため、広場側に開いた位置とし、リラックスできる雰囲気とします。

保健機能と子育て支援機能は同じフロアに配置することで、「子育て支援のワンストップ拠点」を形成し、複合的なサービスの提供を可能にします。



3階 主機能：図書機能(一般開架スペース、児童開架スペース)等



1階エントランスホールから、図書機能入口近くに
つながるエスカレーター・エレベーターを設置します。

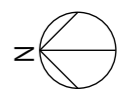
図書機能の入口は、利用者の利便性を重視して立
体駐車場と直結する3階に設けます。

図書機能内に専用乗り継ぎエレベーターを
設けて、バリアフリーへの対応を確保します。

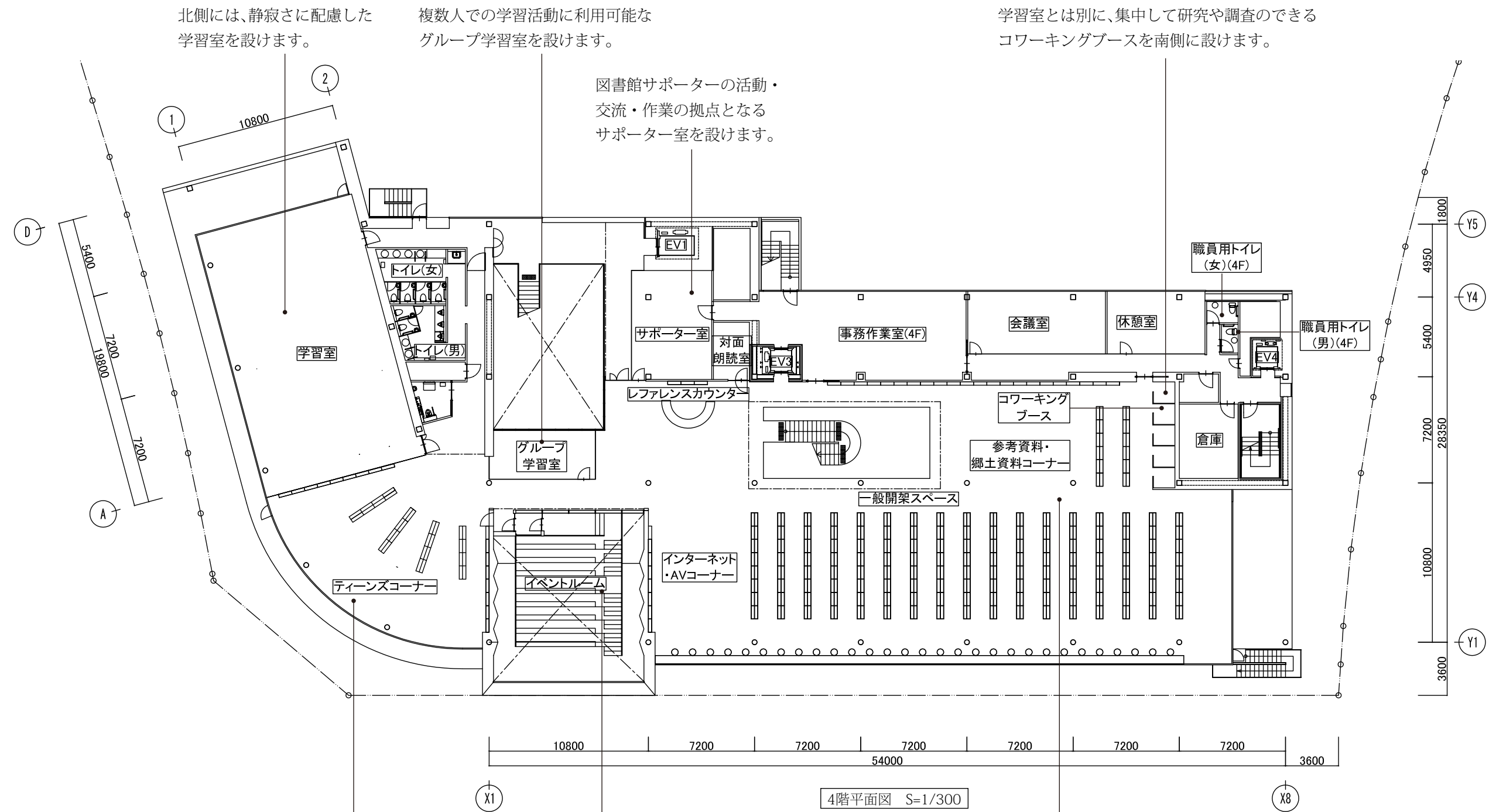
民間施設3階
駐車場との
接続部

児童開架と一般開架はイベントルームによって
一定の距離をとって配置します。

閉架書庫と特別収蔵庫は管理部門と近接さ
せることで蔵書等、管理の効率化を図るこ
とができる計画とします。



4階 主機能：図書機能(一般開架スペース、イベントルーム、学習室)等



北側には、静寂さに配慮した学習室を設けます。

複数人での学習活動に利用可能なグループ学習室を設けます。

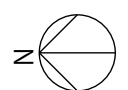
学習室とは別に、集中して研究や調査のできるコワーキングブースを南側に設けます。

図書館サポーターの活動・交流・作業の拠点となるサポーター室を設けます。

ティーンズコーナーは、少人数でのグループ学習ができるような設えとします。

図書機能中央に3・4階を縦断するイベントルームを設け、施設を特徴づけます。一定の遮音性能を持たせ、講演会等のイベント開催も可能とします。

4階の一般開架は、研究や調査を主体とした調べ学習に対応するスペースとします。





鉄道高架下より見た外観のイメージ



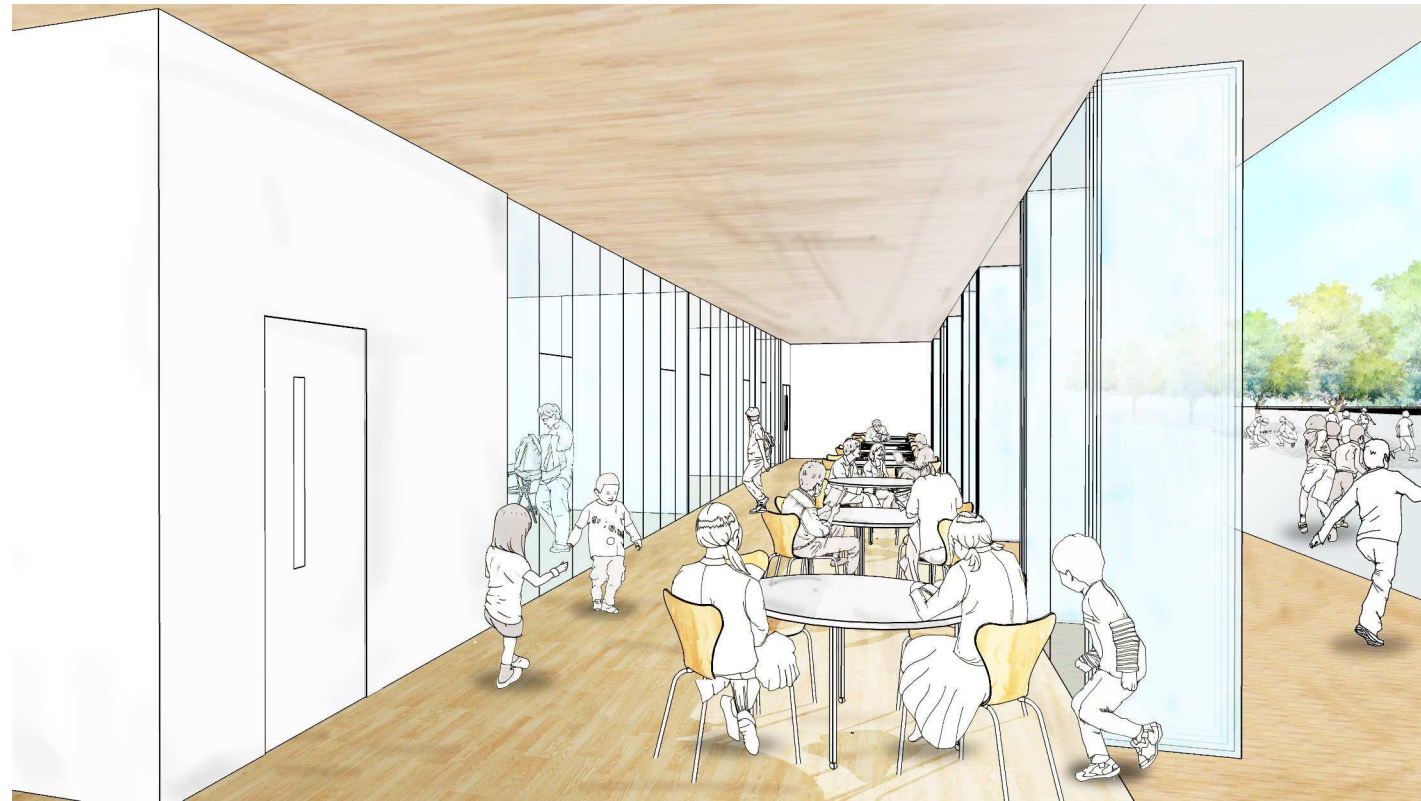
イベントルームのイメージ



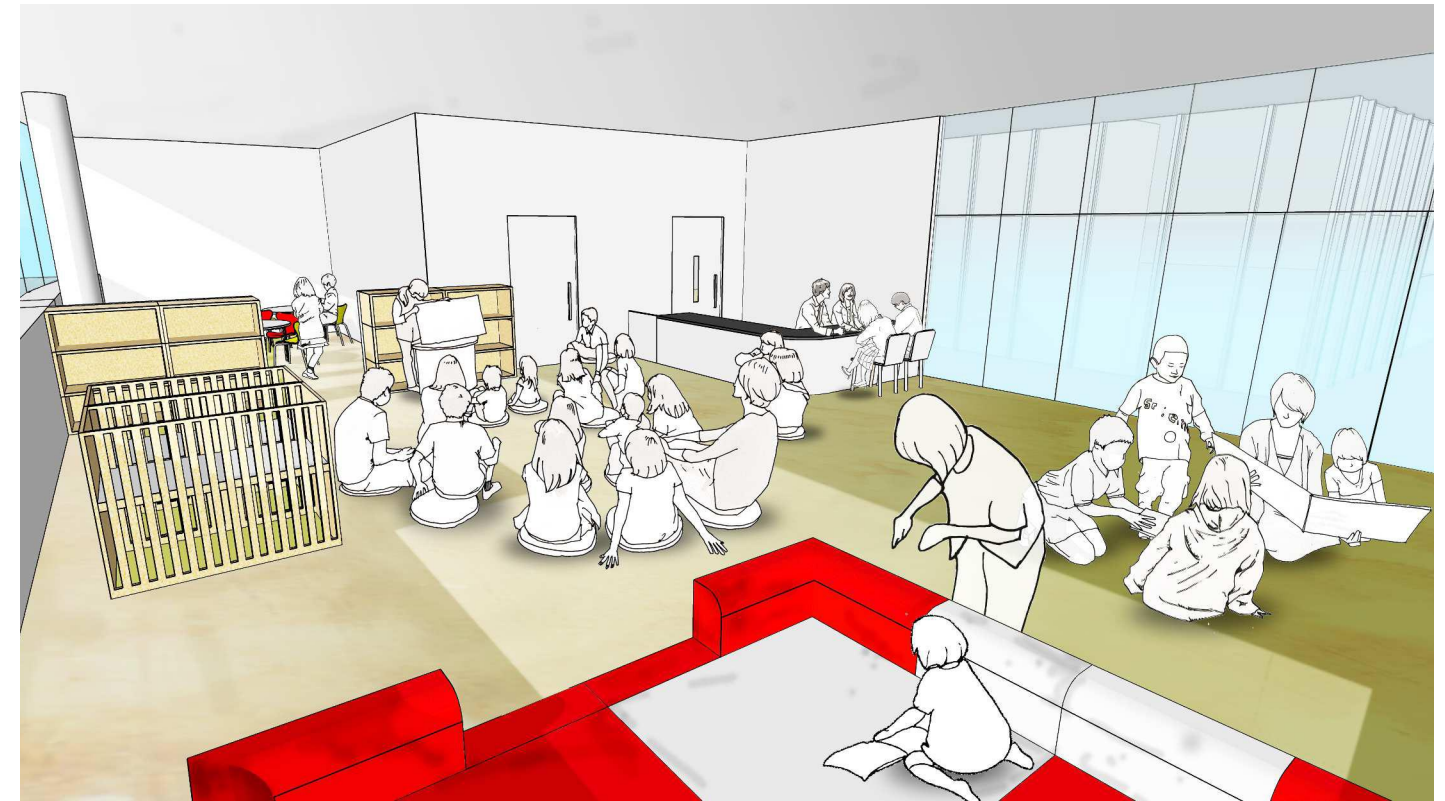
児童開架スペースのイメージ



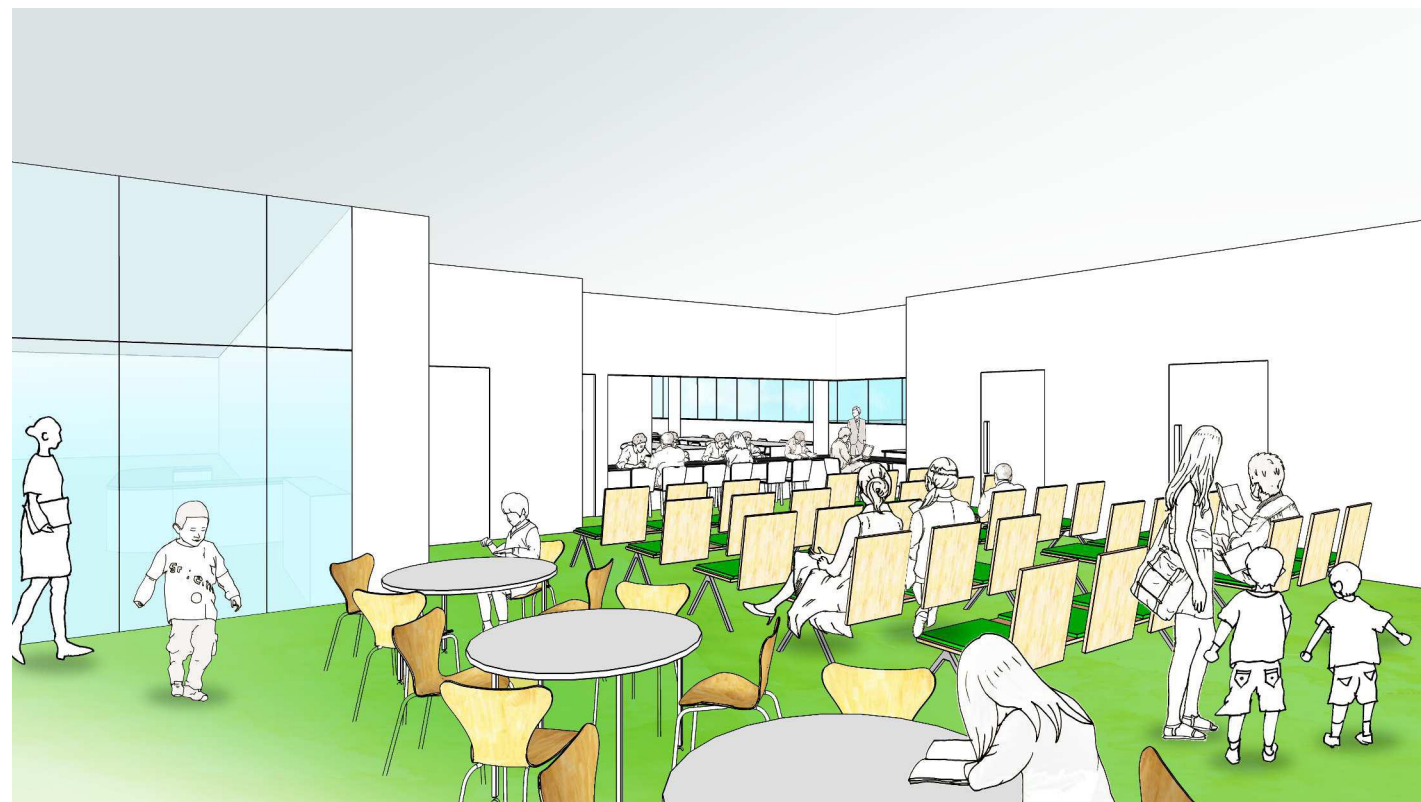
一般開架スペースのイメージ



交流スペースと東駅前広場がつながるイメージ



2階保育室のイメージ



2階保健センター待合ホールのイメージ